

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる区長評価について(HP公表資料(別紙1)作成のための様式)

【福島区】（受託者等:(一財)大阪市コミュニティ協会)

受託者等に対する評価

1 支援の内容及び効果等(1)

評価項目		区長評価	左記の理由
自律的運営に向けた地域活動協議会の取組	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の実施状況	B	・各地域事業がコロナ禍以前のように活動再開実施できていることは、各地域活動協議会の自律的運営に向けた継続的な支援を地域実情に合わせて行ってきた成果と考える。また、組織運営力の地域差を解消するため、会計や広報、防災の取り組みなど地域実情に合わせた地域担当者のスキルアップへの勉強会などに積極的に取組み、一定の成果は現れているものと考ええる。 ・まちセンから地域への情報共有にデジタルを活用できたことは有意義であったと考える。 ・これまで地域活動に関りが薄い住民が地域を知り、地域もこれからのことを考えるきっかけとするための「地域ノート」を野田地域や、吉野地域で作成を行い、地域が町会加入のきっかけにされているという好事例も開かれたことは意義深いと考える。今後は更なる内容の充実に向けて情報発信のデジタル化も含め、地域自らが協議し更新できるよう支援の継続を期待したい。 ・防災事業のとりくみについては、地域事情に応じて内容も柔軟に判断し開催されてきたことは評価できる。中でも従来の講座形式に加えて、一般住民を巻き込んだイベントの支援は有意義であったと考える。 ・マンション居住者など新しい住民との連携に向けてのとりくみは十分に進展できなかったため、「防災」等をキーワードにつながりができるとりくみを継続いただきたい。
	(2)「つながりの拡充」にかかる支援の実施状況		
	(3)「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況		

2 支援の内容及び効果等(2)

評価項目		区長評価	左記の理由
事業の実施体制など	(1-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制	B	・業務責任者(アドバイザー)と支援員で、地域の支援や状況の把握など役割分担のバランスが良い。 ・支援事業者として地域からの信頼を得られていると感じる。今後は地域要望への対応にとどまらず、関係性を維持しながら地域の自立性向上に向けたとりくみを様々な観点から更に積極的に働きかけていただき、支援事業者が持つ実績と機能をフルに活用できるよう支援に努めてもらいたい。 ・多くの区で中間支援事業を委任されている強みとして他区などでの支援情報も最大限に活用して地域への支援に活かしていただくことを期待する。
	(1-2)フォロー(バックアップ)体制等		
	(2)区のマネジメントに合った取組(区との連携)		

3 総合評価【全体】

評価項目	区長評価	左記の理由
上記の1～2を通して全体的な評価	B	・各地域事業がコロナ禍以前のように活動再開実施できたことは、各地域との信頼関係を維持しながら、各地域活動協議会の自律的運営に向けた継続的な支援を地域実情に合わせて行ってきた成果と考える。今後はデジタルツールを活用した情報発信の「受け手」に発信したものが伝わるよう受け手側のスキルアップを視野に地域への支援を期待したい。 ・組織運営力の地域差を解消するため、会計や広報、防災の取り組みなど地域担当者のスキルアップに積極的に取組み、地域の広報活動、情報発信について、課題を抱える地域に寄り添い支援されていることは評価できる。各地域での自律的な会計事務は年々に、区全体的な底上げが感じられる。 ・これまで地域活動に関りが薄い住民が地域を知り、地域も今後のことを考えるきっかけとするための「地域ノート」を4地域で作成することが出来た。今後は更なる内容の充実と有効活用に向けて、地域自らが協議し更新できるよう支援の継続を期待したい。 ・防災事業のとりくみについては、地域事情に応じて内容も柔軟に判断し開催され、新たな取組として、専門学校とのイベント支援についても評価できる。 ・引き続き、マンション居住者など若い層と地域へのつながりづくりについては、SNSを活用してのアンケート集約や情報発信・情報共有など更なる支援内容を検討願いたい。また、新たな担い手づくりにつながる取組みについて重点的に検討願いたい。

【区長評価】

- S：当区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
A：当区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
B：当区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
C：当区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。